産　科

診療科の概要

大阪府における母子保健、母子医療の中核施設として、ハイリスク胎児、妊産褥婦を取り扱っています。また、大阪府のOGCS（産婦人科診療相互援助システム）の基幹病院として、地域からの母体搬送や産科救急にも24時間体制で対応し、リスクの高い妊娠に対する周産期管理を行っています。
また、ローリスクの妊婦さんも積極的に受け入れています。

主な対象疾患

◎母体管理を要する疾患
切迫流産・切迫早産・流早産期の前期破水・妊娠高血圧症候群・前置胎盤・常位胎盤早期剥離・既往帝王切開後妊娠の経腟分娩（TOLAC）・その他母体合併症妊娠（高血圧・糖尿病・妊娠糖尿病・甲状腺機能異常・自己免疫疾患など）

◎胎児管理を要する疾患
子宮内胎児発育不全・多胎妊娠・双胎間輸血症候群（TTTS）・血液型不適合妊娠・羊水過多・羊水過少など

◎胎児疾患（循環器科・小児外科・泌尿器科・脳神経外科・口腔外科などの管理を要する例）
心構造異常・不整脈、消化管閉鎖・横隔膜ヘルニア・臍帯ヘルニア・腹壁破裂・腫瘍、水腎症・尿管瘤・多嚢胞腎・下部尿路閉鎖、水頭症・脊髄髄膜瘤、口唇裂・口蓋裂、骨系統疾患など

◎早産既往、不育症

主な検査と治療

◎検　査
胎児超音波検査、胎児心臓超音波検査、ノンストレステスト（NST）、胎児MRI・CT検査、羊水穿刺、臍帯穿刺による胎児採血など

◎治　療
- 切迫流早産に対する緊急子宮頚管縫縮術
- 双胎間輸血症候群（TTTS）に対する、胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術（FLP）
- 無心体双胎に対するラジオ波血流遮断術（RFA）
- 胎児胸水に対する胸腔羊水腔シャント術
- 先天性肺嚢胞性腺腫様形成異常（CCAM）に対する嚢胞羊水腔シャント術
- 下部尿路閉塞性疾患に対する膀胱羊水腔シャント術
- 胎児貧血に対する胎児輸血
- 胎児頻脈性不整脈に対する薬物療法

専門外来（完全予約制）

多胎外来：火曜日・金曜日
多胎妊婦の集中的な外来管理を行っています。

胎児外来：月曜日・火曜日・木曜日
小児専門各科と連携し、外来管理・胎児治療を行っています。

母体合併症外来：月曜日・水曜日・金曜日
糖尿病・甲状腺・自己免疫疾患等の合併症をもつ方を対象に、母性内科と連携し、外来管理を行っています。

出生前カウンセリング外来：火曜日・水曜日・金曜日
出生前診断・先天異常など妊娠に関する相談を行っています。

流早産予防外来：月曜日・木曜日
不育症に対する評価と治療および早産既往のある方を中心とし、切迫早産の治療（入院安静や子宮収縮抑制剤治療）、子宮頚管縫縮術、細菌性腟症の治療などを行っています。

胎児精密超音波外来：水曜日
セミオープンシステム登録をして頂いている医療機関・助産所で管理されている妊婦を対象に、より詳細な超音波検査を行っています。

診療実績（2023年）

分娩総数は1,874件（早産199件）、総出生児数1,966児です。在胎22～28週未満の分娩が26件、28～32週未満が34件と早期の早産が多いです。専門外来の初診数は、多胎外来124件、胎児外来359件、出生前カウンセリング外来358件、胎児精密超音波外来148件です。母体搬送受け入れ件数は153件であり、切迫流早産・早産期の前期破水・前置胎盤・常位胎盤早期剥離・妊娠高血圧症候群・胎児機能不全など、母児の救急救命センターとして、中核的な役割を果たしています。

診療局長（兼）主任部長
石井 桂介

分娩部部長
林 周作

副部長
笹原 淳

副部長
山本 亮

副部長
川口 晴菜

副部長
山本 瑠美子

医長
和形 麻衣子

診療主任
石田 久美子

診療主任
高橋 成彦

副部長
岡本 陽子